

総務社会

◎住民課関係

国保事業特別会計への保険基盤安定繰出し金1329万4千円の増額、雑排水収集委託料は今年度の業務終了による清算で104万8千円の減額。災害廃棄物処理手数料は、産業廃棄物扱いもできると変更になったため、委託料で処理し事業費確定による3247万2千円の減額。処理量が減ったため、クリーンコスト負担金1028万7千円の減額。

問答

災害廃棄物処理手数料の最終的金額は、約6億5千万円。

◎健康福祉課関係

老人福祉施設措置費は対象者の死亡等により477万1千円の減額。自立支援給付費に750万円の増額、生活保護世帯の人工透析を見込んでいたが、対象者が転出したため500万円の減額。災害復旧事業は、ふれあいセンターの内壁、外壁の修繕の事業確定による減額。

◎教育委員会関係

幼稚園就園奨励補助金は対象者が見込みより少なかったため85万円の減額。北小体育館つり天井撤去の工事業確定による

890万5千円の減額。工事は28年度に繰越し5月頃に施工。

南小学校ランチルームのコウモリの巣の消毒委託料に49万1千円の増額。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●平成27年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)

予算の総額に歳入歳出それぞれ343万9千円を追加し、予算総額をそれぞれ14億4866万1千円とするもの。国保税は徴収実績から歳入額を見込み減額、その他の歳入は交付額確定にともない補正をするもの。歳出は高額療養費等、実績により補正を行うもの。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●陳情第15号 耐震診断・耐震改修に関する陳情書

◎趣旨

特定建築物及び公共建築物の耐震診断・耐震改修について早期に推進すること。また、耐震診断業務の発注に際しては、建築士法の規定に基づき国土交通大臣が定めた業務報酬基準に準拠した契約が行われるよう陳情するもの。

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。

●陳情第1号 軽度外傷性脳損傷、脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情

▽委員全員の賛成により採択すべきものと決定。意見書を提出する。

●陳情第3号 未来の有権者のための模擬投票所設置に関する陳情

◎趣旨

選挙権を持たない子どもや若者でも、実際の選挙で投票を体験することができる模擬投票体験スペースを選挙期間中、投票日に期日前投票所、投票所に設置することを求める。

問 学校教育の中でやっているのではないか。

答 主権者教育という事で、児童会、生徒会選挙に投票物品を貸し出して本当の選挙のようにやっている部分はある。

反対討論

学校の教育の中で行っているので、混乱を期す原因になるので不採択。

賛成討論

子供たちに投票の習慣をつけるという観点は良い。

▽委員多数の反対により不採択すべきものと決定。

●陳情第4号 「平和安全保障関連法案」の廃止を求める意見書の提出についての陳情

◎趣旨(陳情者による説明から)

「平和安全保障関連法案」を廃止して日本の平和と国民の安全を確保することが必要と考える。廃止を求める「意見書」を採択し、政府・関係諸機関に提出してもらいたい。

反対討論

一地方議会で意見する範囲のものではない。

賛成討論

9月定例会では趣旨採択し、国に慎重審議を求めたが、本場に慎重審議されたかは疑問がある。状況が進んでおり、国会では憲法9条を変えていくような方向になっているので、一地方議会の意見として述べることは大事。

▽委員多数の反対により不採択すべきものと決定。

産業経済委員会

◎飯田交流センターの指定管理者の指定

期間満了に伴い、飯田区を継続して指定管理者に指定したいもの。期間は平成28年4月から33年3月まで。

▽委員全員の賛成により可決すべきものと決定。

●行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

◎農政課関係

白馬村営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の用語や審査請求の期間を改正。



お年寄りの憩いの場に…
竣工したばかりの堀之内地区高齢者支え合いセンター